

フィリピン

郵便処理施設拡充事業（2）



本事業により調達された小型郵便車両

〔借款概要〕

承諾額/実行額	1,381百万円 / 561百万円
借款契約調印	1984年5月
借款契約条件	金利3.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1990年11月

〔事業概要〕

郵便集配用車両及び処理機器を調達することにより、郵便物の増加に対処し、郵便サービスの向上に寄与するもの。

〔評価結果〕

本事業は、1980年に円借款を供与した第1期事業に続くものであり、1988年から89年にかけて、集配用車輛（車109台、バイク440台等）、自動押印機及び計量機等を調達し全国の郵便局に供給した。

第1期事業により国内郵便の翌日配達率は約8割を達成していたが、その後も1982年から97年に郵便数は約2倍に増加した一方、配達所要日数は1～3日と安定的に推移しており、本事業により集配能力を増強した効果が窺える。

また、計量機が郵便局に行き渡ったことで局員が手で行っていた郵便・小包の計量・料金計算がより確実なものとなり、料金徴収の改善にも寄与したとされる。

さらに、本事業の一環として、航空郵便配送センターの近代化計画が検討され、1990年以降これに沿って同センターの改善が図られ、2000年の中央郵便センターの創設に至っている。

なお、車両・機器は10年以上経過した現在も約半数が稼動しており、引き続き維持管理に努めることにより、有効活用を図ることが期待される。